

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 サカタインクス株式会社
コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高丸 博次
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5822

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	29,352	1.5	1,116	△15.3	1,536	△8.3	977	5.3
23年3月期第1四半期	28,919	7.2	1,318	558.8	1,674	114.2	927	74.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 996百万円 (483.9%) 23年3月期第1四半期 170百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	16.15	—
23年3月期第1四半期	15.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第1四半期	89,854		37,847		41.1	
23年3月期	87,049		36,866		41.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 36,964百万円 23年3月期 36,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	2.0	1,850	△28.0	2,400	△22.4	1,500	△11.9	24.79
通期	122,000	3.7	4,300	△14.8	5,400	△14.0	3,400	△9.5	56.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	62,601,161 株	23年3月期	62,601,161 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,083,301 株	23年3月期	2,082,767 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	60,518,116 株	23年3月期1Q	60,521,043 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、好調なアジアを中心に緩やかな回復が続きましたが、中東情勢を背景とした原油価格の高騰や欧米における失業率の高止まりなど、先行きが不透明な状況で推移しました。

日本経済は、東日本大震災の発生によって生産や輸出が打撃を受け、自粛ムードの広がりにより個人消費が低迷するなど、景気が急激に落ち込みました。震災からの復旧に伴い足元では持ち直しの動きがみられるものの、円高の進行やデフレ基調の継続など依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力し、環境配慮型製品の開発やコスト削減を図りました。また、原油価格の高騰に加え、印刷インキ全般の主要原材料価格の高騰に対しては、企業努力で吸収できる限界を超えていることから、グループ全体で販売価格の改定にも取り組みました。機能性材料では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液、機能性コーティング剤の開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けましたが、アジアをはじめとする各地域で印刷インキの拡販が進んだことから、293億5千2百万円（前年同期比1.5%増加）となりました。

利益面では、印刷インキの販売数量が増加したものの、原材料高の影響により、営業利益は11億1千6百万円（前年同期比15.3%減少）、経常利益は15億3千6百万円（前年同期比8.3%減少）となりました。四半期純利益は、特別損失が減少したことから増益となり、9億7千7百万円（前年同期比5.3%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材(日本)	14,909	14,376	△533	△3.6%	△3.6%	923	780	△142
印刷インキ(アジア)	3,256	3,802	545	16.7%	27.3%	158	101	△56
印刷インキ(北米)	6,468	6,628	160	2.5%	13.0%	89	△56	△145
印刷インキ(欧州)	1,345	1,465	119	8.9%	17.4%	44	48	3
機能性材料	1,538	1,726	187	12.2%	16.7%	86	135	49
その他	2,726	3,101	375	13.8%	13.8%	△6	79	85
調整額	△1,325	△1,747	△421	—	—	23	28	4
合計	28,919	29,352	432	1.5%	5.6%	1,318	1,116	△201

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

印刷情報関連では、メディアの多様化や広告の低迷により需要が減少する傾向にある中、震災後の広告の減少の影響を受けて、新聞インキは落ち込みましたが、オフセットインキは、拡販を進めたことにより前年同期を上回りました。パッケージ関連では、フレキソインキは需要が低調で前年同期を下回りましたが、グラビアインキは、震災後の顧客の需要増加に対応したことにより、食品包装用を中心に好調に推移しました。機材につきましては、印刷製版用材料が国内印刷市場の低迷により低調に推移し、印刷製版関連機器は設備投資抑制の影響を受けて低調でありました。これらの結果、売上高は143億7千6百万円（前年同期比3.6%減少）となりました。

利益面では、貸倒費用の減少や徹底した経費削減が寄与したものの、原材料高の影響により、営業利益は7億8千万円（前年同期比15.4%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、競争が激化する中、インド、ベトナムなどで拡販が進みました。売上高は、当第1四半期より中国のオフセットインキ製造子会社（MAOMING SAKATA INX CO., LTD.）を連結の範囲に含めたことにより、現地通貨ベースで大幅に増加しましたが、円高による為替換算の影響を受けた結果、38億2百万円（前年同期比16.7%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、販売価格の改定効果が寄与したものの、引き続き原材料高に対して価格転嫁が遅れたことにより、営業利益は1億1百万円（前年同期比35.9%減少）となりました。

③印刷インキ（北米）

オフセットインキは、メディアの多様化による需要減や価格競争の激化など厳しい状況にある中、拡販が進みました。主力のパッケージ関連では、北米や中南米などでのパッケージ需要の高まりに対応して拡販を推進したことにより、メタルインキ、フレキソインキともに好調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、66億2千8百万円（前年同期比2.5%増加）となりました。

利益面では、販売数量が増加したものの、原材料高の影響により、5千6百万円の営業損失（前年同期は8千9百万円の営業利益）となりました。

④印刷インキ（欧州）

主力のパッケージ関連で、メタルインキ、グラビアインキの拡販が進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、14億6千5百万円（前年同期比8.9%増加）となりました。

利益面では、原材料高の影響を受けたものの、販売数量の増加により、営業利益は4千8百万円（前年同期比8.7%増加）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは低調であったものの、インクジェットインキは比較的好調に推移しました。画像表示材料分野では、競争が激化する中、カラーフィルター用顔料分散液が比較的好調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、17億2千6百万円（前年同期比12.2%増加）となりました。

利益面では、売上高の増加により、営業利益は1億3千5百万円（前年同期比57.2%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比28億4百万円(3.2%)増加の898億5千4百万円となりました。

負債は、仕入債務、未払費用及び借入金の増加などにより、前連結会計年度末比18億2千4百万円(3.6%)増加の520億7百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末比9億8千万円(2.7%)増加の378億4千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、アジアをはじめとする各地域で印刷インキの拡販が進み、概ね当初予想通りに推移しました。第2四半期以降につきましては、印刷インキ全般の主要原材料価格が高騰している中、販売価格の改定にグループ全体で取り組んでおりますが、原材料価格の動向も含めて、業績に与える影響が不透明であることから、平成23年5月12日に公表しました当初予想を据え置くことといたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,758	4,379
受取手形及び売掛金	33,247	34,458
商品及び製品	5,841	6,406
仕掛品	720	720
原材料及び貯蔵品	4,039	4,263
その他	2,080	2,348
貸倒引当金	△414	△387
流動資産合計	49,274	52,189
固定資産		
有形固定資産	18,968	19,546
無形固定資産		
のれん	427	413
その他	1,142	1,159
無形固定資産合計	1,569	1,573
投資その他の資産		
投資有価証券	15,101	14,765
その他	3,165	2,966
貸倒引当金	△1,028	△1,186
投資その他の資産合計	17,238	16,545
固定資産合計	37,775	37,664
資産合計	87,049	89,854
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,212	19,825
短期借入金	6,897	7,048
1年内返済予定の長期借入金	1,619	3,071
未払費用	2,446	3,532
未払法人税等	600	653
賞与引当金	1,001	520
その他	1,905	2,030
流動負債合計	33,684	36,683
固定負債		
長期借入金	12,034	11,053
退職給付引当金	2,579	2,623
資産除去債務	68	68
その他	1,817	1,577
固定負債合計	16,499	15,324
負債合計	50,183	52,007

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,832	5,821
利益剰余金	31,032	31,791
自己株式	△637	△637
株主資本合計	43,700	44,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,743	1,377
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	△9,213	△8,864
その他の包括利益累計額合計	△7,466	△7,484
少数株主持分	632	883
純資産合計	36,866	37,847
負債純資産合計	87,049	89,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	28,919	29,352
売上原価	22,128	22,922
売上総利益	6,790	6,429
販売費及び一般管理費	5,471	5,312
営業利益	1,318	1,116
営業外収益		
受取利息	40	18
受取配当金	111	127
持分法による投資利益	196	275
その他	150	127
営業外収益合計	498	549
営業外費用		
支払利息	105	107
為替差損	31	—
その他	6	22
営業外費用合計	142	130
経常利益	1,674	1,536
特別損失		
投資有価証券評価損	84	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	86	—
特別損失合計	170	8
税金等調整前四半期純利益	1,503	1,528
法人税、住民税及び事業税	810	722
法人税等調整額	△246	△179
法人税等合計	563	542
少数株主損益調整前四半期純利益	940	985
少数株主利益	12	8
四半期純利益	927	977

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	940	985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△802	△395
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△144	265
持分法適用会社に対する持分相当額	178	141
その他の包括利益合計	△769	11
四半期包括利益	170	996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140	958
少数株主に係る四半期包括利益	30	37

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	14,902	3,256	6,198	1,345	1,512	27,214	1,705	28,919	—	28,919
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	0	269	—	26	304	1,020	1,325	△1,325	—
計	14,909	3,256	6,468	1,345	1,538	27,518	2,726	30,245	△1,325	28,919
セグメント利益 又は損失(△)	923	158	89	44	86	1,301	△6	1,294	23	1,318

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額23百万円には、セグメント間取引消去76百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△52百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	14,366	3,773	6,180	1,427	1,698	27,446	1,905	29,352	—	29,352
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	28	448	37	27	551	1,195	1,747	△1,747	—
計	14,376	3,802	6,628	1,465	1,726	27,998	3,101	31,099	△1,747	29,352
セグメント利益 又は損失(△)	780	101	△56	48	135	1,009	79	1,088	28	1,116

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額28百万円には、セグメント間取引消去75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。